

令和6年2月1日

地域の皆さま

山形県立山形中央高等学校
校長 佐藤 裕 恒

山形中央高校 各種大会における活躍について（ご報告）

大寒の候、地域の皆さまにはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は8つの部活動が全国大会へと駒を進め、陸上部：赤坂美結さんが第17回U18陸上大会300m走にて日本一に輝いたほか、多くの選手が檜舞台で活躍した1年となりました。

国際大会では、第31回WBSC U-18ベースボールワールドカップにおいて本校野球部：武田陸玖選手が投打二刀流で活躍し、日本の初優勝に貢献しています。武田選手は横浜DeNAベイスターズにドラフト3位で入団を果たし、幼いころからのプロ野球選手への夢を見事叶えました。また、卒業生の大泉周也選手も福岡ソフトバンクホークスへ入団し、本校よりプロ野球選手2名を輩出する慶事となりました。

年末には第42回全国高等学校弓道選抜大会において、本校男子団体が初の全国優勝を成し遂げました。本校弓道部初の全国優勝であり、全国高校選抜大会においても県勢初の団体優勝でした。弓道部は全部員が普通科所属であり、高いレベルでの文武両道を実践してくれました。

冬季競技では、1月下旬に岐阜県で開催された「第73回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会（冬季インターハイ）」において、本校スケート部が女子チームパシュート（団体追い抜き）競技において、3年ぶり6回目の優勝を飾りました。冬場の氷上練習はもちろんのこと、夏場の自転車トレーニング等に打ち込んだ成果です。

本校は「地域と、世界に、挑戦できる学校」を新たにキャッチコピーに掲げ、生徒・教職員一丸となってより良い学校づくりに励んでまいりました。地域の皆さまより多方面からご支援・ご指導を賜るなかで、本校昇降口に掲示された大会結果等についてお声がけいただく機会もあり、大変嬉しく受け止めております。引続き地域に根差し・開かれた学校を作ってまいりたいと存じますので、地域の皆さまのお手伝いができることがありましたら、ぜひ下記までお知らせください。

春を迎えるにあたり、在校生は新学年での活躍の準備を、3年生は進路実現と新生活の準備に忙しく打ち込んでいます。本年も地域の皆さまに本校の活躍をご報告できますよう励んで参ります。引き続きのご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

【お問合せ先】

山形県立山形中央高等学校

生徒指導部 担当：飯澤

電話：023-641-7312

山形中央高校 全国優勝ラッシュ！！

全国優勝その①

第42回全国高等学校弓道選抜大会 男子団体優勝！！

大会期間：令和5年12月23日～12月25日 於：東京都

男子団体は3年ぶり2回目の全国選抜大会出場。昨年は女子団体が全国選抜大会へ出場している。全国選抜大会での団体優勝は男女通じて山形県勢初の快挙である。大会では尻上がりに的中を伸ばすと、決勝では12射10中の好成績で全国優勝の栄冠を手にした。

部員の男女38名は全員が普通科所属であり、高いレベルでの文武両道を実現している。また、優勝メンバーをはじめ、部員のほとんどが高校から弓道を始めた生徒である。日ごろの創意工夫を凝らした練習が全国優勝として結実した。

全国優勝その②

第73回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 女子チームパシュート(団体追い抜き)優勝！！

大会期間：令和6年1月16日～1月21日 於：岐阜県

チームパシュート種目は3名で隊列を組み、先頭を交代しながら滑走するのが一般的である。雨天となった大会当日は、ウィリアムソン師円コーチの指導の下、先頭交代せずに滑走する戦術が奏功し、3年ぶり6回目の優勝に輝いた。また、男子チームパシュートも5位に入賞し、男女そろって山形中央スケート部の存在感を示した。

同大会に先立って開催された「全日本選抜スピードスケート競技会 盛岡大会」では、男子3000mにおいて、本校：小谷謙太郎選手が全国優勝を成し遂げた。大学生・社会人選手も出場する中での出色の優勝である。また、本校スケート部OBである森重航選手がワールドカップ男子500mで4連勝を飾るなど卒業生の活躍からも目を離せない。

吹奏楽部 世界の舞台で活躍！！

台湾 嘉義市国際音楽祭にて招待演奏を披露！

12月下旬に台湾で開催された第31回台湾嘉義市国際音楽祭において、本校吹奏楽部が招待演奏を披露した。東北の高校としては初の出演である。現在部員は2月に福島県で開催される「東北吹奏楽アンサンブルコンテスト」において、全国大会への切符を勝ち取るべく練習に励んでいる。

作成：山形中央高校生徒会